

番 号 1

平成22年9月3日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 12番 安藤 武

		平成22年9月3日 午前11時21分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>水害について 豪雨から住民を守れるか ①各河川の常習的氾濫にどのような対策をとるのか。 ②駅東公園付近と小松字山崎の改良は必要ではないか。 ③職員の防災意識はこれで十分か。 ④避難対策に問題はなかったか。</p> <p>上水道について 神代地区の上水の汚れは深刻 ①水源調査の実施を急ぐべき。 ②全体の給水計画を早急に示して欲しい。 ③小規模水道に助成できないか。</p> <p>庁用車について ①土、日、祭日のバス利用はどうなっているのか。 また、もっと利用しやすくできないか。</p>		
上記のとおり通告します。		

平成22年9月3日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 1番 高 橋 豪

		平成22年9月3日 午前8時30分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>◇地域ブランド戦略について ～「田沢湖・角館」統一ブランド～</p> <p>全国各地で「地域ブランド」への取り組みが本格化している。本市においては門脇市長のマニフェストの目玉でもある「所得 10%UP」の手段として、これまでは個別のブランドであった「田沢湖・角館」を融合し統一ブランドとしてあらゆる分野における「地域ブランド戦略」を展開することとされている。そのひとつとして本定例会に「田沢湖・角館」の統一ブランドロゴマークのデザインに対する補正予算が計上されており、今や「地域ブランド戦略」なくして地域の活性化は語れないと言われるなか、こうした取り組みに対しては大いに期待するものがある。そこで次の点について質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市長は地域ブランド戦略についてどのようなお考えをお持ちなのか？ 2 「地域ブランド戦略」の今後について中長期的なビジョンは？ 3 アクションプランとしての具体的戦略の内容は？ 4 「田沢湖・角館」を統一ブランドとして展開する際、最もインパクトがあり効果的手法としては市名の変更という選択肢もあるが市長の考えはいかがであるか？ <p>◇市の災害対策について ～ 集中豪雨による被害を受けて～</p> <p>7月上旬から8月中旬にかけて仙北市内を襲った集中豪雨のため、たくさんの方々被災されたことにより、市の防災対策や災害時及びその後の対応等について多くの課題があることを踏まえ、こうした対策については多面的に再検討する必要があると考える。このような局地的・一時的な集中豪雨は近年においては一過性とは言えず、今後もありうる事態としてとらえた上で次の点について質問する。</p>		

- 1 本市における災害防止対策、災害時における組織体制の強化、被災者への支援等、市民の生活と安全を守る施策について伺う。
- 2 今現在取り組んでいること、今後取り込もうとしていることは？
- 3 被害発生箇所の把握と本市の災害時応援協定について

◇市民会議の位置づけについて

「明日の県立高校を考える市民会議」や「みんなの庁舎検討委員会」など既に行ったものや今後予定しているものを含め、本市における市民会議の行政及び議会に対する位置づけについて伺う。

上記のとおり通告します。

番 号 3

平成22年9月3日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 5番 狐崎 捷 琅

		平成22年9月3日 午前11時55分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
問1 議員報酬の引き下げについて質問致します。 現在、仙北市の年間の市民所得は全県の最下位の176万2千円です。最高はにかほ市の352万4千円です。仙北市と同規模の市は隣の北秋田市で191万2千円です。議員報酬は、にかほ市は22万円、北秋田市は23万2千円です。仙北市は、約3万2千人の人口で、市といってもほとんど町と変わらない人口です。平成の大合併で3万人以上であれば市と認めるとしてやっと認められました。市といっても規模は町並みだと思います。 ところが財政事情が余り良くない町村が合併したのに議員の報酬は、平成18年に34万円になりましたが、2年間32万2千円になり、平成20年には現在の31万2千円になりました。私達の会派民生会議は、これを合併前の田沢湖議会の26万円代に下げなければこの市の財政再建は難しいだろうと考えています。なおこの26万円については合併協議会でも資料を出し合っただけでこのぐらいが適当だろうと話合われた額だと聞いています。 一方、議員報酬を引き下げると選挙費用がかさむ現制度では若い人たちが出にくいという考えがあります。それは、仙北市に選挙運動公営制度ができていないからだだと思います。選挙運動公営制度ができていないのは、秋田県全市の中で仙北市だけです。秋田県の仙北市を除く全市は、選挙カー運転手、日当、ポスター、ウグイス嬢まで同額の補助が出ます。このような選挙公営制度を全市並みにきちんと作り、議員報酬を下げるべきだと考えます。		

以上、議員報酬の引き下げと選挙公営制度についてどのようにお考えになれるか市長の考えをお伺いいたします。

質問 2

滞在型観光、特に着地型観光についてお伺いいたします。

先日の秋田魁新聞の社説に着地型観光の必要性についての社説が載っていました。従来の観光は発地型観光で主に旅行社が見学先を決め、旅行者の意志に関係なく旅行するというものでした。これからは、受け入れ先が積極的に立案し、「貴方は、私達の所に来て何をしたいですか。」という観光にしなければならないという趣旨でした。私達の仙北市では、武家屋敷、田沢湖、温泉、登山、農作業体験、山菜採り、魚つり等いろいろなメニューを用意することができます。こうした着地型観光について私達もNPO法人を立ち上げ現在申請中ですが、行政ではこの着地型についてどのように考えているのかをお聞きします。また、市民が民間サイドでこうしたものを立ち上げようとしたときに行政側でどのようなサポートが出来るかについてお伺いいたします。

質問 3

チャレンジデーについてお伺いいたします。

市長は、マニフェストのなかで市民の90パーセントを何らかの形で運動するようにさせたいとっていますが、次に述べるチャレンジデーに参加することにより運動に対する関心を高め動機づけになるのではないかと思います。市長の考えをお聞きします。

このチャレンジデーは、カナダから始まり同じ規模の人口の市町村と1日15分以上運動をした数を競うものです。財源は、笹川事業財団で財団から72万円の助成があり、仙北市で支出する必要はありません。財団の理事長は秋田県出身のオリンピック選手小野清子さんが理事長です。このチャレンジデー参加により富士テレビがアイリス効果のある仙北市を30分紹介してくれるという2次的な話も出ています。これをきっかけにして市民の運動による健康作りの良い機会に成ると思いますので、ぜひチャレンジした方がいいと思いますが、市長の考えをお聞きします。

質問 4

内陸線でのDMV（デュアルモードビークル）の試験的運行についてお伺いいたします。

北海道 JR でマイクロバス大の線路と道路両用の電車バス（DMV）を開発しました。値段は 1,500 万円～ 2,000 万円位で改良に改良を重ね雪にも強く接続も可能な電車バスを開発し、貸し出しもしています。今年は南阿蘇鉄道に貸し出すそうです。8 月末の朝のテレビでも放映されていました。これを内陸線でも借り受け、試験運行を試してみる価値があると思いますが市長の考えをお聞きします。

質問 5

総合型地域スポーツクラブについてお尋ねいたします。

市長はマニフェストの中で総合型地域スポーツクラブづくりのために頑張ると述べています。総合型地域スポーツクラブは、文部科学省のスポーツ振興法に基づいたスポーツ振興国民計画でもって進められております。秋田県では佐竹知事が前に発表したスポーツ立県秋田の大きな柱にもなっています。即ち、中学校区に一つ総合型クラブをつくり地域のスポーツ交流の場にするとということですが、現在立ち上げているのは角館と田沢湖、まもなく西木地区でも立ち上げの準備中と聞いています。市長はこれに 25 万 3 千円の予算をどのように使おうとしているのかお伺い致します。

質問 6

集中豪雨については恐らく一般質問者が全員質問するだろうと思いますので基本的な考えだけ質問したいと思います。

ゲリラ豪雨と呼ばれる集中豪雨の被害が今後起こらないように根本的に修復するためには財政的に或いは水位の関係で現在では相当の困難があると思います。次の 2 点に絞って工事をしていく必要があると思います。

- ①集中豪雨により破壊された箇所は必ず修復する。
- ②集中豪雨までもいかないが強い雨が降ると必ず水害が起こる箇所は、根本的に水害が起こらない方法を考える。

以上の 2 点に観点を絞って当たる必要があると思いますが市長の考えをお聞き致します。

上記のとおり通告します。

番 号 4

平成22年9月3日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 13番 小 林 幸 悦

		平成22年9月3日 午前8時30分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 豪雨災害に対する対応と今後の対策について。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 災害発生時に備え各課が連携して初期段階での危機管理体制を、今一度検討し確立しておくことが必要ではないか。○ 比較的軽微な農地災害等で個人対応された方々に対する救済措置は考えているようだが、その他で大きな被害を受けた農家等への救済措置は考えているのか。○ 県に対して河川改修の要望を強く行うべきと思うが、効果的な方策は。 <p>2. 民間工事の市内建設業者受注について</p> <ul style="list-style-type: none">○ 厳しい社会情勢の中で、建設業界も物件が少なく大変な状況にある。そんな中で、市の助成や協力により建設される民間の建物が市内の業者で施工できないのは残念である。市内の業者が元請として受注できるような方策は無いのか。 <p>3. 平成24年度から中学校で必修化となる武道授業について</p> <ul style="list-style-type: none">○ 必修化の意義、目的について市教育委員会の考えは。○ 市内、各中学校ではどのような取り組みをしているのか、現状をお聞きしたい。○ 市内の武道団体には柔道、剣道、弓道、合気道などがあるが、こうした団体と連携して地域指導者のサポートをお願いした授業は考えられないか。○ 生徒自らによる武道授業の選択肢は可能か。		
上記のとおり通告します。		

番 号 5

平成22年9月2日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 11番 荒木田 俊一

		平成22年9月2日 午前09時00分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>I 災害対策について</p> <p>①仙北市地域防災計画は活かされているのか。絵に書いた餅になっていないか。</p> <p>②19年の災害以降、市民からの要望に対しどのように対応してきたのか。 また情報はどのように管理し、街づくりに活かされているのか。</p> <p>③防災無線の今後の整備のあり方について、どのような方向で検討されているのか。</p> <p>④危機管理やリスクマネジメントが不十分であると思うがどう認識しているのか。</p> <p>II 産業振興について</p> <p>①高速情報通信網の未整備地区（田沢湖高原）の企業・ホテルから整備の要望があるが対応策は。</p> <p>②総合産業研究所の役割について</p> <p>III 総合体育館について</p> <p>①総合体育館の必要はないのか。 教育施設の充実、社会体育の振興、市民の健康増進、市民活力の醸成等の面から調査・検討をするべきではないか。</p>		
上記のとおり通告します。		

番 号 6

平成22年9月1日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 2番 熊谷 一 夫

		平成22年9月1日 午前8時30分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 豪雨被害について</p> <p>7月末から8月20日まで、当市を襲った“ゲリラ豪雨”による被害は甚大なものである。市当局ではいち早く災害対策本部を設置し、市長を先頭に不眠不休で対応に当たって頂いた事には感謝申し上げます。しかし、突発的な自然災害とはいえ、決して十分な対応とはいえなかったと思います。そこで、今後の防災体制づくりの事もあり、以下の点について、今回の“豪雨災害”に対する行政の対応について伺います。</p> <p>①災害時における緊急支援体制、情報伝達システム、緊急連絡方法は適切に行われたか？</p> <p>②避難指示、避難所への適切・迅速な体制行動はなされたか？</p> <p>③市職員の災害の対する危機管理意識について</p> <p>④災害時の要援護者（要介護、高齢者、障がい者等）に対する支援、取り組みは充分行われたか？</p> <p>⑤災害復旧の進行状況、被害者宅への連絡は連絡はされたのか？</p> <p>⑥今後の防災対策について</p> <p>2. 「仙北市防災の日」の制定について</p> <p>昭和35年8月3日の集中豪雨で15名の犠牲者を出し、住宅や農作物等に大きな被害をもたらした、あの田沢湖水害から今年で50年を迎え市民フォーラムと慰霊祭を開催しました。今回のようなゲリラ豪雨の件もあり、又、当時のことを風化させず「災害に強い地域づくり」を構築していく為にも8月3日を「仙北市防災の日」と制定することを</p>		

提案するものです。

この日を基点として、“地域防災週間”的な設定をし、市民も地域も行政も一体となって防災意識の向上と災害時の考察をしていったらいかがでしょうか。？市長の考えを伺いたい。

3. 田沢湖病院の医師確保対策・救急医療の再開とドクターヘリの対応策について

6月議会で、稲田議員が質問をされましたが、改めて田沢湖病院の救急医療再開についてご質問いたします。

この田沢湖地域では、駅伝大会や19日に行われます田沢湖マラソン大会、自転車競技レース等様々なスポーツ大会やイベントが行われます。まして観光地でもありたくさんの宿泊施設もあります。そして地域の方たちの「命と健康を守る」という大事な役割を持っている田沢湖病院であります。

地域住民も、国内外から来る観光客もみんな1日も早い救急医療の再開を望んでおります。その後の進捗状況と再開の見通しについて伺います。

上記のとおり通告します。

番 号 7

平成22年9月3日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 16番 八 柳 良太郎

		平成22年9月3日 午前11時59分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>I 木質バイオマス発電について</p> <ol style="list-style-type: none">1 ガス化発電機の稼働状況について2 森林懇話会について3 原材料のチップについて4 今後の見通しについて <p>II 仙北市国税返還金問題、県立高校統合問題等重要問題について</p> <p>議会は二元代表制のもと、行政の事務執行の監視機能及び立法機能を十分発揮し、地方自治の本旨の実現を目指すものである。 今のままでは、議会との協議が不足していると思うがどうか。</p>		
上記のとおり通告します。		